



TV-NAVI KIT

テレビ&ナビキット 取付/取扱説明書



このたびはデータシステム製品をお買い上げいただき、誠にありがとうございます。
この取扱説明書と保証書をよくお読みのうえ、正しくお使いください。その後大切に保管し、必要な時にお読みください。
保証書は、「お買い上げ日・販売店名」などの記入を必ず確かめ、販売店からお受け取りください。

ご注意

本製品は、日本国内で車検を受けた車両専用に設計された製品であり、弊社が認める適合車両以外への取り付け、および日本国外での販売や使用を禁止しています。万が一、日本国外で使用されたとしても、弊社は一切の責任・保証を負いませんのでご了承ください。

内容物一覧

- TVコントロールユニット x1
- ナビコントロールユニット x1
- 切替スイッチ x1
- 通信ハーネス x1
- 取付/取扱説明書(本書) x1
- 両面テープ (大x2/小x1)
- 保証書&ユーザー保証登録カード x1

掲載の車種別分解手順について

適合にない車種・ディーラーオプションナビも掲載されています。適合については弊社の最新適合表を必ず確認してください。一部車種は弊社webサイトで分解手順を公開しています。
車種別分解手順に記載がない場合は、下記URLをご覧ください、必要に応じてダウンロードしてください。

<https://www.datasystem.co.jp/support/manual/>

ご相談窓口

サービス(技術的なお問い合わせ・修理受付) **お電話 086-486-0442** [受付時間] 月曜日~金曜日 10:00~12:00 / 13:00~17:30 (年末年始/祝日など、弊社休業日を除く)

メールでのお問い合わせ(PC) <https://www.datasystem.co.jp/support/mail/>

メールでのお問い合わせ(スマートフォン) <https://www.datasystem.co.jp/sp/support/>



Data System 株式会社 データシステム

<https://www.datasystem.co.jp/>

■[本社] 東京都新宿区新宿1-18-2 ■[倉敷支社] 岡山県倉敷市神田1-1-11

本書は著作権法で保護されています。本書に記載の一部、または全部(デザイン含む)を(株)データシステムの許諾・許可なしに無断で転用・複製・改変・掲示・頒布・販売・出版などおこなうことを固く禁じます。

保証について

- 付属の保証書に必要な事項をすべてご記入ください。特に販売店印およびご購入日の記入がない場合、保証書は無効となります。保証期間を有効にするために、必ずユーザー登録をおこなってください。
- ※保証期間は付属の保証書をご参照ください。
- ※ユーザー登録をおこなわない場合、保証期間は無効となります。
- ※保証規定は保証書をご参照ください。
- ※保証書はいかなる理由があっても再発行いたしません。あらかじめご了承ください。
- ※本製品に貼付している封印シールは剥がさないでください。剥がした場合、保証期間に関わらず保証対象外となります。

保守部品の保有年数について

この製品は、補修部品の入手性、修理後の性能保証の観点から、修理対応期間(保守部品の保有年数)を製造打ち切り後、8年間に設定しています。
※修理対応期間は目安であり、実際の期間は若干異なる場合があります。修理対応期間(保守部品の保有年数)を終了している製品については、修理のご依頼をお受けできない場合があります。

注意事項の定義について

注意事項は「**危険**」、「**注意**」、「**警告**」、「**重要**」に区分しており、それぞれ次の意味をあらわします。

危険	守らないと、死亡や重傷などの重大な結果に結びつく可能性が高いもの
注意	守らないと、車両および製品を破損、または故障させる恐れがあるもの
警告	守らないと、法律に違反する恐れがあるもの
重要	本製品を使用する上で知っておいていただきたいこと

使用上の注意

危険

- 本製品は、運転者以外の同乗者が、走行中にテレビを視聴したりナビを操作したりするための製品です。運転中、運転者は絶対にテレビ視聴したり、ナビの操作をしないでください。運転者が走行中に画像表示装置(ナビゲーション・テレビ画面など)を注視することは道路交通法で禁じられています(道交法第71条)。
- 走行テストをおこなうときは、必ず助手席に人を乗せ、助手席の方がテストしてください。

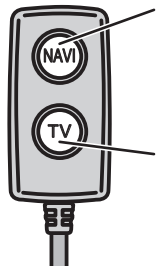
警告

- 安全上、運転者は走行中絶対にテレビを視聴したり、ナビの操作をしりしないでください。道路交通法の安全運転義務違反となり、処罰の対象となります。罰金・減点などの責務に関して、弊社では一切責任を負いません。
- 運転者以外に同乗者がいない状態で走行する場合、絶対にテレビを映さないでください。道路交通法の安全運転義務違反となり、処罰の対象となります。

重要

- 本製品動作中は、ナビゲーション(ナビ)上の自転車位置が不正確になる場合があります。
- ナビ上の自転車位置が不正確になった場合は、本製品をOFFにすると、ナビのGPSで補正され正確な位置に戻ります。車両や周囲の状況、ナビの性能によって、正確な位置に戻るまでに時間がかかる場合があります。
- 本製品を動作させると、距離に関する情報(平均車速や燃費など)が不正確になる場合があります。
- 走行中にテレビを視聴すると、停車時よりも電波の受信感度が低下し、ブロックノイズや映像のフリーズ、音切れなどが発生する場合があります。
- ナビを点検・修理に出す際は、必ず本製品を取り外してください。アフターパーツ類(本製品を含む)を取り付けている場合、メーカー保証の対象外となります。
- 本製品を使用して発生した事故、違法行為、車両の故障または破損などの責任は一切負いません。

つかいかた



●NAVIスイッチ

押すごとに赤ランプが点灯/消灯します。
点灯中は、走行中でもナビゲーションの目的地設定や周辺検索ができます。

●TVスイッチ

押すごとに緑ランプが点灯/消灯します。
点灯中にナビ側で【TV】を選択すると、走行中でもテレビが映ります。

●本製品はエンジンを始動させるたびにOFFになり、各スイッチが消灯します。

●走行中にテレビを映すには…

1. 本製品の【TVスイッチ】を押して、スイッチのランプを点灯させます。



2. ナビゲーション側で【TV】を選択します。

3. テレビの映像が映ります。

4. もう一度【TVスイッチ】を押すと、スイッチのランプが消灯し、テレビが視聴できない状態に戻ります。

●【TVスイッチ】消灯中は、本製品を取り付けていない時と同じ状態です。

●走行中にナビゲーションの目的地設定や周辺検索をするには…

1. 本製品の【NAVIスイッチ】を押して、スイッチのランプを点灯させます。



2. ナビゲーションを操作して、目的地設定や周辺検索をします。

3. ナビゲーションの操作が終わったら、もう一度【NAVIスイッチ】を押してスイッチのランプを消灯させ、走行中に目的地設定や周辺検索ができない状態に戻します。

【NAVIスイッチ】が点灯している間、ナビの自車位置が不正確になります。ナビの操作が終わったら、早めにスイッチを操作して元の状態に戻してください。

●【NAVIスイッチ】点灯後、5分経過すると自動的に消灯し、元の状態に戻ります(オートOFFモード)。5分以上ナビを操作したい場合は、もう一度【NAVIスイッチ】を操作するか、マニュアルOFFモードにしてください。

●【NAVIスイッチ】が点灯している間、ナビの自車位置が不正確になります。【NAVIスイッチ】をOFFにすると、ナビのGPSで補正され正確な位置に戻ります。車両や周囲の状況、ナビの性能によって、正確な位置に戻るまでに時間がかかる場合があります。

NAVIスイッチのモード切り替えについて

【NAVIスイッチ】には2つのモードがあります。
お好みで切り替えてご使用ください(オートOFFモード推奨)。

オートOFFモード……【NAVIスイッチ】点灯後、5分経過すると自動的に消灯して元の状態に戻ります。

マニュアルOFFモード……一度【NAVIスイッチ】を点灯させると、もう一度スイッチを操作するまで元の状態に戻りません。

●モード切り替え方法

1. イグニッションスイッチをOFFにします。



イグニッションスイッチ

2. 【NAVIスイッチ】を押しながら、イグニッションスイッチをONにします。



押しながら

イグニッションスイッチ

3. 【NAVIスイッチ】の点灯状態で、設定内容をお知らせします。

※設定は本製品に記憶されます。変更する場合は再度設定し直してください。

マニュアルOFFモード



7秒間点灯

オートOFFモード



7秒間点滅

Q&A

Q. 【切替スイッチ】を接続しなくても使用できますか？

A. 使用できません。【切替スイッチ】は必ず接続してください。

Q. この製品を取り付けた状態で車検は通りますか？

A. 車検の点検項目にはありませんので、問題なく車検に通ります(運転や視界の妨げとなる位置に【切替スイッチ】を設置した場合を除く)。

Q. ナビを点検・修理に出す場合の注意点は？

A. ナビを点検・修理に出す際は、必ず本製品を取り外してください。アフターパーツ類(本製品を含む)を取り付けている場合、メーカー保証が受けられないことがあります。

Q. 製品を取り付けた後、パワーウィンドウなどの動きがおかしくなりました。

A. 車両の装備によっては、バッテリーのマイナス端子を外すと、設定が消去されて動作しなくなるものがあります。「接続のあとに」をご参照の上、再度設定をおこなってください。

Q. 純正のバックカメラはそのまま使用できますか？

A. 通常通り使用できます。

Q. 【NAVIスイッチ】が点滅します。

A. 通信ハーネス(橙線)の接続を確認してください。通信ハーネスの接続不良があると【NAVIスイッチ】が点滅します。

Q. ユーザー登録はしなければいけませんか？

A. ユーザー登録をおこなわない場合は保証は無効となります。必ずユーザー登録をおこなってください。

Q. 保証書に販売店の記入がありません。

A. 保証書に販売店の記入がない場合は、購入時の納品書を保証書と一緒に保管してください。販売店の記入がない場合で点検・修理をする際は、保証書とあわせて納品書の提示が必要になります。保証書に販売店の記入がなく、納品書のご提示もない場合は、保証が無効になります。

取り付け上の注意



危険

- 取り付け作業前に、必ずバッテリーマイナス端子を外して車両側の電源を遮断してください。電源を遮断しない状況での取り付けは、ショートや感電など重大事故につながります。
- シートレールやペダルなどに噛み込まれたり、挟まれる可能性のある場所など、運転に支障をきたす場所には本製品を絶対に設置しないでください。



注意

- 本製品の取り付けには、専門知識が必要です。製品の取り付けは販売店または整備工場などにご依頼ください。
- 本製品は、車種またはナビの機種により適合する品番が異なります。適合する品番がない場合は取り付けできません。
- 本製品の取り付け前に、ディスクなどのメディア類はすべてユニットから取り出してください。
- 本製品取り付けの際、静電気の帯電にご注意ください。静電気の放電によって機器が故障するおそれがあります。
- コネクターを外す際は、コネクターの抜け防止爪をしっかり押し込み、まっすぐ引き抜いてください。コネクターを無理に引っ張ると、コネクターやユニットが破損するおそれがあります。
- コネクターを接続するときは、奥まで(カチッと音がするまで)確実に差し込んでください。
- アース線の接続は、塗装などが施されていない(金属が露出している)場所に接続してください(接続が必要な品番のみ)。
- 車両側および本製品の配線を傷つけないよう、配線の取り回しには十分ご注意ください。
- 配線部分は絶対に引っ張らないでください。断線、接触不良を引き起こすおそれがあります。
- 本製品は、必ず車両側に両面テープなどで固定してください。固定しないと接触不良の原因となったり、配線が断線したりするおそれがあります。



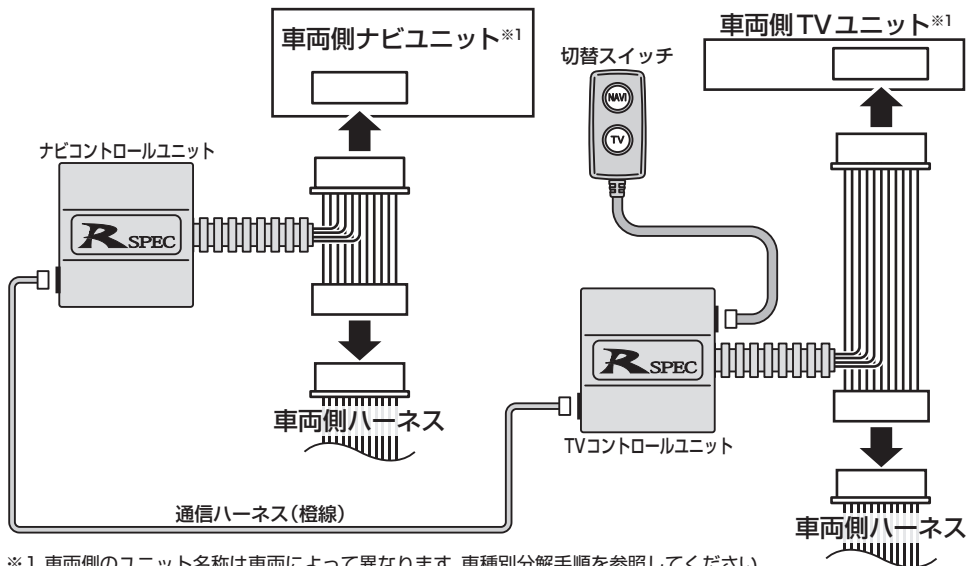
重要

- バッテリーのマイナス端子を外す前に、オーディオ機器などの設定内容をメモしておき、取り付け完了後に再入力してください。入力方法は機器の取扱説明書をご参照ください。
- 【切替スイッチ】は必ず接続してください。接続しないと本製品は動作しません。
- ナビを点検・修理に出す際は、必ず付属の点検コネクターを取り付けてください。アフターパーツ類(本製品を含む)を取り付けている場合、メーカー保証の対象外となる場合があります。

接続イメージ

車両のユニットと車両側のハーネスとの間に接続します。

※接続位置やコネクター数、配線などは、車種や品番によって異なります。



※1 車両側のユニット名称は車両によって異なります。車種別分解手順を参照してください。

取り付け方法

1. ユニットから、ディスクなどのメディア類を取り出します。
2. バッテリーのマイナス端子を外します。
3. 車種別の分解手順*を参照して、内装やパネルなどを取り外し、指定されたコネクターや配線に本製品を取り付けます。

重要 通信ハーネス(橙線)は必ず接続してください。
通信ハーネスを取り付けないと本製品は正常に動作しません。
4. 【切替スイッチ】をTVコントロールユニットに接続して、操作しやすい場所へ設置します。
5. ナビを動作可能な状態にして、バッテリーのマイナス端子を接続し、動作テストをします。
6. 動作に問題がなければ、内装やパネル類、取り出したディスク類を完全に元に戻して作業完了です。

接続のあとに

車両の装備によって、バッテリーのマイナス端子を外すと、設定が消去されて動作しなくなるものがあります。その場合は次の方法で初期設定をおこなってください。

パワーウィンドウ	各ドアのドアガラスをドアスイッチで全開状態から全閉状態にし、さらに5秒以上ドアスイッチを閉方向に操作し続ける
電動スライドドア	スライドドアを手動で全開、全閉する
サンルーフ	ルーフ動作が一巡するまで、チルトアップボタンを押し続ける
バックガイドモニター	平坦な場所に停車し、バックモニターを表示させた状態で左右両側にステアリングを一杯に切る
パワートランクリッド	トランクを手動で全開、全閉する